

（12 月）霜（しも）



静岡市の平年の霜初日は 12 月 1 日、終日は 3 月 23 日である。霜は空気中の水蒸気が氷の結晶となって地面または地上にある物体の表面に付着したもので、地面・表面の気温は 0℃以下。霜が降りやすいのは、風の弱い晴れた夜で、地面付近の空気の熱が放射によって奪われ冷える時である。一方風が吹くと冷気が周辺の空気と混ざり、曇ると放射が弱くなり霜が降りにくくなる。そして厄介なのが、車のフロントガラスに降りる霜の凍結である。対策は、屋根付き駐車場、凍結防止シート、あらかじめ撥水剤<sup>はっすいざい</sup>を塗っておくなど。なお、県内では春に一番茶の凍霜被害<sup>とうそう</sup>が予想されると、气象台から霜注意報が発表される。

（備考）毎年松本市で行われる近県対抗チーム戦は、砂入り人工芝の屋内施設（やまびこドーム、南部屋内運動場）で行われる。この施設は、冬期「雪や霜」の影響で、屋外で行うテニスなどのスポーツが出来ないことがあるため作られたとのこと。 （鈴木 徹）